

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
(仮称)新王子病院新築工事

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								3.5
Q1 室内環境			0.40					4.0
1 音環境		3.7	0.15	3.4	1.00			3.6
1.1 騒音		4.0	0.40	4.0	0.40			
1 室内騒音レベル	室内許容騒音レベル参考	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 設備騒音対策								
1.2 遮音		3.8	0.40	3.0	0.40			
1 開口部遮音性能	複層ガラス使用のためT-3	5.0	0.40	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	1.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	2.0	0.20			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	0.20			
2 温熱環境		5.0	0.35	5.0	1.00			5.0
2.1 室温制御		5.0	0.50	5.0	0.50			
1 室温	全熱交換器使用	5.0	0.38	5.0	0.57			
2 負荷変動・過渡制御性								
3 外皮性能	Low-eガラス、複層ガラス使用	5.0	0.25	5.0	0.43			
4 ゾーン別制御性	GHP 空冷ヒートポンプ式エアコン方式	5.0	0.38					
5 温度・湿度制御								
6 個別制御								
7 時間外空調に対する配慮								
8 監視システム								
2.2 湿度制御	全熱交換器使用	5.0	0.20	5.0	0.20			
2.3 空調方式	全熱交換器 放射空調システム使用	5.0	0.30	5.0	0.30			
3 光・視環境		3.3	0.25	3.0	1.00			3.3
3.1 昼光利用		4.2	0.30	4.2	0.30			
1 昼光率	12.5%(待合)、4.8%(病室)	5.0	0.60	5.0	0.60			
2 方位別開口				3.0				
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.40			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア								
2 昼光制御		3.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策								
3.3 照度		3.0	0.15	1.0	0.15			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25			
4 空気環境		3.7	0.25	3.7	1.00			3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F (仕上げ表1~4)	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策								
3 ダニ・カビ等								
4 レジオネラ対策								
4.2 換気		2.5	0.30	3.3	0.38			
1 換気量	870m ³ (待合)、50m ³ (病室)	4.0	0.50	5.0	0.33			
2 自然換気性能	病室有効開口2.6m ² 病室床面積2.54m ²	3.0	-	4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	1.0	0.33			
4 給気計画								
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		3.0						
2 喫煙の制御	病院内外禁煙(禁煙外来診療を行っている)	5.0	1.00					
Q2 サービス性能			0.30					3.9
1 機能性		4.0	0.40	4.8	1.00			4.1
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60			
1 広さ・収納性	病室有効面積 (4床室)8.3m ² /人 (個室)14.41m ²	3.0	-	5.0	1.00			
2 高度情報通信設備対応		3.0		3.0				
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30	4.5	0.40			
1 広さ感・景観	病室天井高さH = 2500	3.0	-	4.0	0.50			
2 リフレッシュスペース		3.0						
3 内装計画	コンセプト・パース・模型等で提案	5.0	1.00	5.0	0.50			
1.3 維持管理		4.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計	仕上げ表・平面図による	5.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	トイレごとに掃除用設置、外部に廃棄物置場・掃除用具置場設	4.0	0.50					
3 衛生管理業務								
2 耐用性・信頼性		3.8	0.31					3.8
2.1 耐震・免震		3.4	0.48					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能	免震建物	5.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		4.2	0.33					
1 躯体材料の耐用年数	100年	5.0	0.23					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	コンクリートの上タイル貼り、更新間隔40年	5.0	0.23					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	ガルバリウムダクト使用	4.0	0.08					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	空調・給排水管の判断基準の資料	5.0	0.15					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23					

2.4 信頼性			4.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備	屋上の空調設備図による	4.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備	エコマーク商品、節水型	5.0	0.20	-	-	
3	電気設備	発電機設備図による。電源設備(受変電・各盤)は地下に設置無し	4.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備	電話回線とPHS機器併設、精密機器は(MDF、19インチラック)4階に	4.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性			3.7	0.29	3.5	1.00	3.7
3.1 空間のゆとり			4.6	0.31	4.0	0.50	
1	階高のゆとり	(待合のある階)H=4310、(病室のある階)H=3810	5.0	0.60	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:(待合のある階)0.144、(病室のある階)0.177	4.0	0.40	4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.38	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性	屋上の空調設備図による	5.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペース	バックアップ設備のためのスペースが確保されている	4.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	空地率78.82%、舗装面積率13.60%	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.8
1 建物の熱負荷抑制			2.9	0.30	-	-	2.9
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20	-	-	4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用	ハイサイドライト使用	4.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光利用計画	4.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			5.0	0.30	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(ERRによる評価)		ERR=41.6%	5.0		-	-	
集合住宅の評価			3.0		-	-	
4 効率的運用			3.5	0.20	-	-	3.5
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制	設備計画書、品質計画書	4.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水	節水型便器・擬音装置	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	躯体・プラスターボード・仕上げ材、分別可能	4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.4	0.22	-	-	3.4
3.1	有害物質を含まない材料の使用	F	5.0	0.32	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		2.6	0.68	-	-	
1	消火剤		2.0	0.33	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮		C02換算スコア4.2	4.2	0.33	-	-	4.2
2 地域環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車台数155台、管理用・荷解き用駐車14台、車出入り口3ヶ所	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	別棟に廃棄物置場・不潔庫・おりバケツ置場設置	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	曇光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	